

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第3学年 「図画工作（開隆堂）」

42時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	絵の具と水のハーモニー 2時間	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して、いろいろな点や線で絵を描く。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
2	A表現 (1)ア(2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び	ふわふわ空気のみ木 2時間	空気を入れたビニール袋の心地よさを味わいながら活動する。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
3 4	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	ふくろの中には、何が… 4時間	身近材料を使って、紙袋の中に自分だけの世界をつくる。	4	・作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。
	工作	光サンドイッチ 4時間	色セロハンをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	4	・作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。
5 6	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	ふしぎな乗りもの 4時間	身近なものがどんな乗り物になったら面白いと考えて、絵に表す。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	絵 【選択】	にじんで広がる色の世界 4時間	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	4	・製作する作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・多様な表現技法を紹介し、児童が選択して表現できるようにする。
7 8	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	つかっての楽しいカラフルねん土 4時間	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ったの楽しいものをつくる。	4	
	工作	へん身だんボール 4時間	段ボール箱を切ったり、穴を開けたり、つなげたりして変身できるものをつくって遊ぶ。	4	家庭 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動は家庭での課題とし、本製作の前に確認する。
	【選択】	ねん土ランドへようこそ 4時間	友達と協力して、の楽しい「ねん土ランド」をつくる。	4	・友達との間隔を保って活動する。
9 ~ 11	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	でこぼこさん大集合 6時間	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	6	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	絵 【選択】	未来にタイムスリップ 6時間	将来自分がなりたい夢を想像して絵に表す。	6	家庭 ・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
12	A表現 (1)ア(2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び	あみあみ大きくせん 2時間	網を使って場所を生かした活動をする。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
13	B鑑賞 (1)ア	集めて、ならべてマイコレクション 2時間	自然の材料を集めて空き箱に自分らしく詰めたり並べたりする。	2	・箱の中に並べる材料は事前に準備できるよう、休み時間に集めたり、家庭に協力を依頼したりする。
14 15	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	トントンくぎ打ち、コンコンビー玉 4時間	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。	4	・釘を打ち込みやすい堅さの木材を使用する。 ・友達との間隔を保って活動する。 ・長い板材を使用することで、何人かが平行して釘打ちができるようにする。

16	A表現	さわってわくわく	身近な材料の触り心地を生かして貼り、絵に表す。	3	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。
17	(1)イ(2)イ B鑑賞	3時間			
	(1)ア 絵 【選択】	線と線が集まって	線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫して絵に表す。	3	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
		3時間			
18	A表現	のこぎりひいてザク、ザク、ザク	角材をたくさんのがざりて切り、木片を組み合わせてつくりたいものをつくる。	5	・速乾性の木工用ボンドを使用し、時間削減を図る
19	(1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 工作	5時間			・のこぎりて切る材料の数をある程度制限して、時間削減できるよう配慮する。
20	A表現	生まれかわったなかまたち	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。	4	・速乾性の接着剤を使用し、時間削減を図る。
21	(1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 工作	4時間			

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、工作の題材として、「つかってたのしいカラフルねん土」「へんしんだんボール」「ねん土ランドへようこそ」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。